

# 交換留学報告書

\* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイト等に記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	岸原 和奏	学年(渡航時)	3年
派遣先大学	ライデン大学		
国・地域	オランダ・ライデン		
派遣期間	2024年8月～2025年7月		

## 履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Culture and Society of the Netherlands: An Inside View	オランダの文化や現代社会、歴史的背景を学び、幅広く学ぶ。また、オランダの町へ訪れて vlog を撮るグループプロジェクトがある。
Dutch Painting1400-1950: Introduction to the Art History of the Netherlands, Cultuurwetenschap I	オランダの画家の絵を時代ごとに概要や、特徴、文化や歴史の文脈を学ぶ。
Beginners Course 1A- Language Acquisition I	ライティング、リーディング、スピーキング、リスニングを実践的に学びながら基礎を学ぶ。
2 学期目	
履修科目	授業内容
Speaking/Listening1B	日常的なスピーキングやリスニングのスキル向上のため、発音の練習や日常的な場面の聞き取りの練習を行う。
Reading/Vocabulary1B	毎週授業内でテキストを読み、課題や質問に取り組む。その際、段落の区切りや段落内での情報の配分などの文章構造を学ぶ。語彙は毎週単語テストがあり、それに向けて自学という形で予習する。
Writing/Grammar 1B	メール、ブログ記事、情報提供文、エッセイを通して文法を用いながら書く練習を行う。また、他の国のオランダ語学習者たちとメールのやり取りを行った。

## 留学レポート(1,500字以上)

私は1年間、オランダのライデン大学に留学しました。ライデン大学はオランダ最古の総合大学であり、ヨーロッパで最も古い大学の一つです。このレポートでは、オランダ留学について、①ライデン大学での授業、②日本学科の会話と漢字の授業ボランティア、③留学生活、の3点に分けてまとめたいと思います。

- ① オランダ、ライデン大学の生徒の国籍は様々で、ヨーロッパ各国はもちろん、アジアやアメリカなどから来た生徒も多く、意見を授業内で聞かれた際は自分自身の意見をはっきり持ち、多様な視点で意見が交わされるのが印象的でした。私が学んでいた Dutch Studies ではオランダ語のスキル向上に向けての学習はもちろん、歴史や文化、社会についても学ぶことができました。実際にオランダに住んだり、オランダ語を学んだりする上で背景を知っていることで役に立つことも多かったです。前期はオランダ語の基礎を学ぶ、そしてオランダの概要を学ぶ、という授業がほとんどで、勉強すればテストにパスできました。一方で後期の単位取得は難しかったです。私は後期にはオランダ語の授業しか取りませんでした。毎週テストがあったり、期末テストも高いレベルが求められたりして勉強で忙しかったです。しかし難しいながらも単語テストや期末テストでパ

スすることで、1年間でオランダ語に対する自信ができました。

- ② 私は日本学科の一年生の会話と漢字の授業にボランティアとして参加していました。一年生なので8月の時点ではまだまだ話せない生徒が多かったですが、年度が終わる頃には日本語で意思疎通ができ、さらに表現も豊かになって、毎回の授業で本当に驚いていました。漢字も初めは基本的な漢字から初めていましたが、学期が進むにつれてどんどん知っている漢字が増え、最後にもらった寄せ書きにたくさんの漢字を使ったメッセージが書いてあり、感動しました。自分の母国語を時間をかけて真剣に学んでくれているのが嬉しく、誇らしく感じていました。そして何より、学生たちが一生懸命日本語を勉強している姿を見て、自分ももっと頑張らなきゃと自然と思えるようになりました。どんなにオランダ語の勉強が大変でも1年間諦めずに学び続けることができたのは、日本学科の学生のおかげと言っても過言ではありません。また、ボランティアをすることで、日本語や日本の文化について外から見つめ直すきっかけにもなり、自分自身の学びにもつながりました。
- ③ オランダでの学生生活は、学業だけでなく日常生活や課外活動も含め、とても充実していたと思います。授業以外の時間は、ジムに行って運動したり、日本にいた頃からしていた競技ダンスのクラブ活動に参加したりして、授業や学内であう人以外の人たちとも交流することができました。特にオランダ人は背が高いので、競技ダンスでペアになって踊る際にはとても大変でしたが、日本とオランダのどちらの雰囲気も体験することができて非常に良い経験になったと思います。オランダ生活はどれも刺激的でしたが、慣れるまでに苦労したこともいくつかありました。中でも一番大変だったのは、天候です。オランダは秋から冬はとにかく雨の日が多く、基本雨が降っているか、曇りか、または風が強いかというような天候でした。日本のように傘をさす人は少なく、自転車に乗りながらレインコートを着て移動するのが一般的です。雨風の中でも自転車で毎日大学へ通うのは、正直大変でした。ですが、寒い季節が終われば、暖かく、過ごしやすい天候になるので、最終的には休日に自転車でもどこかへ行くのもオランダらしさを感じられ、楽しかったです。また、ヨーロッパにいる特権を活かし、休みの期間には多くのEU諸国へ旅行しました。クリスマスシーズンにはドイツのクリスマスマーケットへ訪れたり、暖かくなればイタリアやスペインへ行ったりと、歴史や文化がそれぞれ異なる場所を直接体験できたのは貴重な経験でした。留学の終盤には、1人でハンガリーへ行きました。人生初めての1人海外旅行を通して、自分の成長を感じました。

留学を通して多くの人に出会うことができ、同時に多くの価値観に触れることができました。もちろん楽しいことばかりではありませんでしたが、乗り越えていく上で新しいことを学ぶ機会を大いに得ることができたと思います。楽しかった思い出や苦い思い出など、今振り返れば私にとって経験した全てが宝物です。オランダに留学してよかったと心から思います。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



ライデンの運河沿いの景色



元旦を迎えて花火が上がっている様子



ライデンにあるシーボルトハウスの館長さんと



オランダの King's Day の前夜祭



日本学科の学生とビーチに行きました